



## 申14号「2021年度年末手当等に関する申し入れ」 第3回団体交渉開催！ その2

### 回答は到底納得できない！2.0ヶ月の根拠は何なのか！

■組合 ▲会社

#### 対前年より増収だ！

■上半期の運輸収入が、対前年 780 億円の増収である。

**なぜ年末手当が今年の2.2ヶ月から2.0ヶ月に下がるのか！**

▲業績のみを反映するという性質ではなく、決算状況だけではなく、その先の業績、経済動向、長期的な経営、費用増の内部要因、さらには世間の動向など、様々な会社を取り巻く状況を勘案して、総合的に判断するものである。

■増収した 780 億円は社員 1 人あたり 4 ヶ月分の換算になる。削減されることに理解出来ない。どの要素を勘案して 2.2 ヶ月から 2.0 ヶ月になったのか。

▲要素については、足元の業績だけではなく、長期的な経営環境、さらには世間動向、社員の取組み状況などを様々勘案した中で決定している。

#### 職場の努力は反映されていないのか！

■社員 1 人ひとりの努力も、チャレンジも、検討にあたっての 1 つの要素だとあったが、昨年よりも低かったということか。組合員・社員の生活や努力の悲痛な声を把握しておきながら、支給月数を下げるのは、悲痛な声よりも会社の成長や好循環が大切なのか。

▲社員の取組み状況については、しっかり受け止めた中で、今回足元の状況ならびに長期的な経営環境、世間動向、様々勘案した中で回答している。

#### 納得いく回答をすべきだ！

■年間 4 ヶ月の支給は JR 発足以来過去最低である。定昇カットがあり、実質は 2 ヶ月よりも低いと認識している。職場は過去最高の働き度だと多くの声が出されている。また、下半期は黒字の見通しを出している。働き度が最高で、なぜ定期昇給が 2 カットされ、期末手当が過去最低なのか。全く理解出来ない。

▲社員 1 人ひとりが多くの困難を乗り越えて、これまで取り組んできた構造改革の成果をしっかりと受け止めた中で、下期黒字化に向けた強い決意と、さらなるチャレンジに期待して回答している。

### 職場で汗して働いてきた組合員の声に全く応えてない！

#### 赤字の経営責任を職場に押し付けるのか！

■年末手当をカットして、決算を下方修正しているのは、赤字の責任を職場に押し付けているようにしか見えない。経営の責任ではないのか。

▲社員の皆さんには新型コロナウイルス感染症が蔓延している中で、しっかりと感染防止対策を図りながら取り組んでいただいたことに、心より御礼申し上げたい。

■幹部も職場を訪問して組合員・社員の声を聞いているが、どのような声を聞いたのか。

▲様々な機会、やり方で社員と話しながら、取り組んできた。

#### 出さない理由でしかない！

■会社は、業績好調時は突出感を大事にしなければならない。悪い時は好循環をつくり出すことで、社員・家族の幸福を実現出来ると述べ、出さない理由でしかないと考える。今後のベースになるのではないかと危機感がある。ベースにしないのなら理由を伺いたい。

▲会社としては、現状が良いとは思っていない。社員が安心して働けるように、会社の持続的な発展が不可欠である。持続的な成長をして、社員の働きがいにつながる好循環をしっかりとサイクルを回して、変革 2027 を実現したい。

#### 回答を再考すべきだ！

■職場で懸命に働いている組合員の現実賃金が減少し不安な中で、生きるために必死になって生活している。声を受け止めたとは到底感じられない。納得出来るわけがない。再考していただきたい。

▲2 回の交渉で様々な議論を経て本日回答している。こちらが最終回答である。